

環境調査結果のお知らせ

平成28年2月8日午前9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は13.0~17.0℃で、前回調査時(H28.1.8)と比較して表層で0.5℃、2m層から底層で1.3℃それぞれ低下していました。

塩分は26.8~31.5で、前回調査時と比較して全層で0.5~1.8上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.2~11.5mg/lで、前回調査時と比較して表層で3.0mg/l増加、1m層で0.4mg/l減少、2m層から底層で0.9~1.0mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.3mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で4,850cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.1.8)	
			差(今回-前回)
0m	13.0	13.5	▲ 0.5
1m	16.6	16.6	0.0
2m	17.0	18.3	▲ 1.3
B-1	17.0	18.3	▲ 1.3

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.1.8)	
			差(今回-前回)
0m	26.8	25.5	1.3
1m	30.5	28.7	1.8
2m	31.4	30.9	0.5
B-1	31.5	30.9	0.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H28.1.8)	
			差(今回-前回)
0m	11.5	8.5	3.0
1m	7.5	7.9	▲ 0.4
2m	7.2	6.3	0.9
B-1	7.3	6.3	1.0

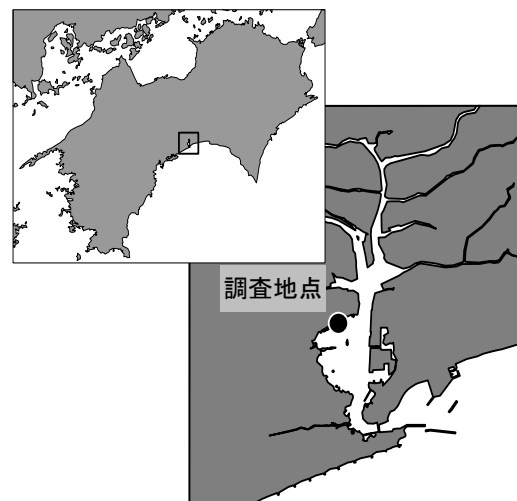


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.2	3.0
透明度	2.3	2.8

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	4,825	3	8	0
1	4,850	2	6	0
2	3,900	1	5	20

漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>